

ワイヤーメッシュ柵の設置チェック表(イノシシ対策用)

区分	項目	☑
柵の設置位置	柵の内外に見通しの良い空間を設け、侵入防止効果を確保している。(イノシシに対する心理的プレッシャー)	
	急傾斜地を避け、できるだけ平坦な場所に設置している。(設置時の軽作業化及び設置後の維持管理軽減)	
	山際の傾斜下や棚田(段畑)直下など侵入防止効果が低い位置には設置していない。(イノシシ目線で見ると相対的に柵の高さが低くなることの防止)	
柵の設置方法 (始点と終点)	イノシシが絶対に侵入できない条件の場所を除き、ほ場全体を囲っている。	
	封鎖できない道路や河川で柵が途切れる場合、柵の返しをつけ、まわり込み侵入を防止している。	
	山側だけの柵など始点と終点が接していない柵の場合、始点と終点に返しをつけ、まわり込み侵入を防止している。	
裏表と支柱の位置	ワイヤーメッシュの縦線を外側(イノシシが出現する側)に横線を内側(ほ場側)に設置している。	
	支柱はワイヤーメッシュのほ場側に打っている。	
地際の処理	ワイヤーメッシュ最下段の横線が地面に着くまで差し込み(踏み込み)、地際にすき間ができないように設置している。	
つなぎ方	ワイヤーメッシュの2枚目以降は、端の縦線を確実に重ね設置している。	
	設置面傾斜の変わり目や段差部分は、双方のワイヤーメッシュの上端から下端までを確実に重ね合わせ、すき間がないようにしている。(傾斜部分、段差部分)	
支柱の打ち込み	設置場所の地盤の状態に合わせ、柵がぐらつかないようにしっかり打ち込んでいる。	
結束	上段、中段、下段の3か所、ワイヤーメッシュを支柱と一緒に留めている。	
	下段はワイヤーメッシュの地際(最下段か2段目)で留めている。	
	針金はたすきがけし、ぐらつきのないようにしっかりと留めている。	
出入口の確保	ほ場への進入路だけでなく、柵外の雑草管理、水路・池の管理、山の管理など必要な場所に確保している。(50mに1か所程度(目安))	
	スムーズな開閉と扉下からの侵入防止のため、出入口は平坦な場所に作っている。	
扉の構造	扉はスパイラルを用いて設置し、スムーズな開閉と強度を確保している。	
	片扉の場合は扉先端の1マスを手前のワイヤーメッシュに、両開き扉の場合は両方の扉先端の1マスを重ね合わせ、扉の強度を確保している。	
	出入口はカンヌキでぐらつかないように固定している。アスファルト面等硬い地面では、直管パイプ等によるカンヌキの受けを作り固定している。	
水路対策	柵が水路をまたぐ場合、イノシシの侵入防止対策を行っている。	